

初のAIデザイントラ

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は、新たなデザイントラック車両を導入。今回の車両のモチーフとなったのは、颯爽と草原を駆ける馬の群れで、今回のデザインを特別なものとして、今ひとつが、同社にとって初となる生成AIを活用したデザインである点だ。デザインを具現化するにあたり、チャットGPTを全面的に活用した。

「草原を駆ける馬

のような爽やかなデザインが良い」という担当ドライバーの希望と同社のイメージから、AIがいくつかの画像を生成。提案された画像を元にブラッシュアップをして完成させた。これまで、東海林社長や担当者が悩みなからデザインを作ってきたが、生成AIを活用することで、ほんの数分でたたき台となるアイデアまでたどり着くことができた。

馬は同社長の父で

あり、創業者の東海林昭市郎氏が愛した動物だ。幼少の頃、学校に通いながら馬引きの手伝いをしてきた時の経験を同社長に語って聞かせていた。坂道にさしかかった時など、馬が辛そうにしていれば、自身も荷物を背負い、馬を助けた。そうすれば、馬はよく言うことを聞いてくれたという。『馬は人の気持ちが分かる』というのが父の弁だった。そんな経験から生前、ネク

タイや小物に馬のモチーフを選んで見たら、きっと笑って大喜びするはず」と同社長は目を細める。（田川侑史）



東海林社長と社員が安全を祈願